

村落社会研究会八〇年度

第一回

運営委員会・宿題委員会 報告

一、期日 七九年一一月一〇日
一、場所 慶應義塾大学新研究室

一、出席委員

柿崎京一 坂井達朗 星崎稔

高橋明善

一、議題

(1)

一九八〇年大会開催地と日程
開催地 奈良県桜井市淡山神社

日程 一九八〇年一〇月三日(金)四日(土曜)

奈良女子大の後藤先生が八〇年の大会開催をお引き受け下さいました。宿泊施設を確保するうえで、早急に場所、日程を決定する必要から、右記のとおりに決めました。

(2) 共通課題について

「農村自治—構造と論理—」

副題を「構造と論理」に決めました。共通課題については「農村自治」を継続することについては、先の大会時に了承されていましたが、副題については決定をみていなかつたことから、検討の結果、今年度の大会では、過去二回の大括の一応の理論的総括を目指すことを意図して、右記のように決定しました。

(3) 本年度研究会の開催について

本年度の研究会の持ち方は、ほど昨年に準じて、第一回は全国研究会、第二回は各地区研究会、第三回は第二回を受けて再び全国研究会を予定しています。第一回は別記のよう、二月二日に慶應大学で開催し、宿題委員よりこれまでの報告、討論に関する「論点整理」をいたします。第二回は各地区で三ヶ月

月頃開催し、第三回は六月頃開催して、大会の準備を行なう予定にしており、従って「研究通信」もこれに合わせて発行する計画です。

(4)宿題委員の補充

柿崎京一、長谷川昭彦の両氏を宿題委員に補充して本年の課題に取り組むことになりました。
(事務局)